

平成26年度事業報告

(公財)こうべ市民福祉振興協会は、「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念である市、事業者及び市民の三者が有する人材、資力などを総合的に活用することによって市民福祉を振興するための事業を創造・推進させ、市民福祉の向上に寄与することを目的とした事業を下記のとおり実施した。

平成26年度は、平成23年度に策定した「中期経営計画2014」が終了することに伴い、新たな時代変化の中で、神戸市が目指す「ともに支え合う社会」の実現に向けて取り組むべき方向を示した「中期経営計画2018」（計画期間：平成27年度から平成30年度の4か年）を新たに策定した。

平成26年度事業報告

【公益目的事業】

I 市民の福祉意識の啓発並びに福祉活動の普及及び助長[公1]

福祉資源としての市民の有する力のさらなる活用を図るため、市民に対する福祉意識の啓発や市民の福祉活動を振興する事業を実施した。

1 市民の福祉意識の啓発を図る事業

(1) 情報誌の発行

市民福祉への理解を深めることを目的に、当協会の取り組んでいる事業内容の他、福祉や健康に関する情報を掲載した情報誌「市民ふくし」を発行した。

[発行回数]年6回 [発行部数]各30,000部

(2) ふれあい体験学習

市民の思いやりの心を育むことを目的に、学校・企業等の団体を対象に、福祉に関する講義や車いす・アイマスク・白杖等を用いた介護実習及び福祉施設での実習等を行った。

[参加者数] 3,480人

(3) ユニバーサルデザインの普及啓発

ユニバーサル社会の実現を目指し、より多くの市民にユニバーサルデザインへの理解を広げていくため、講義やワークショップを通して学ぶ「こうべUD大学」や「夏休み親子UD体験教室」等を実施したほか、啓発及び関連団体の取り組みのPRの場である「こうべユニバーサルデザインフェア」等を実施した。

① こうべUD大学 [実施回数]全10回 [受講者数]50人

② 夏休み親子UD体験教室 [実施回数]年1回(8月6日) [参加者数]77人

- ③ こうべユニバーサルデザインフェア
[実施回数]年1回(3月22日) [来場者数]11,000人
- ④ UDクイズラリー [実施回数]年1回(6月1日) [参加者数]333人
- ⑤ UDスポット見学ツアーinしあわせの村 [実施回数]66回 [参加者数]946人

(4) ダイアログ・イン・ザ・ダーク

完全に光を遮断した空間の中で、視覚障がい者のアテンドのもと、グループで様々なシーンを体験することにより、相互理解を深め、コミュニケーションの大切さを再確認するソーシャルエンターテインメントを開催した。また、福祉学習や仲間の大切さを知る場として、神戸市教育委員会との連携により、小学校の総合学習プログラムとしても実施した。

[開催日]11月27日～12月1日 [参加者数]計578人(うち小学校8校・379人)

2 市民の福祉活動の振興

(1) 市民福祉事業・福祉活動助成

市民活動の活性化による福祉都市神戸の創造を目的に、神戸市民の福祉の発展・向上に資する事業・活動の実施等に対する助成を行った。

[助成件数]7件 [助成金額]計970千円

(2) 手話・点訳ボランティアの養成と活動支援

視覚・聴覚障がい者についての理解を深めるとともに、市民ボランティアの育成を目指し、手話及び点訳の講習会を行った。

また、同講習会修了者を中心に組織されたボランティア団体に対する運営の支援や活動機会の提供を行った。

- ① 手話講習会 [実施回数]全40回 [修了者数]25人
- ② 点訳講習会(初級) [実施回数]全25回 [修了者数]6人
- ③ 点訳講習会(中級) [実施回数]全25回 [修了者数]7人

(3) 福祉教室

福祉意識の向上や介護知識・技能の習得などを目的とした講座や講演会を行った。

- ① 男性向け介護教室 [実施回数]年1回(11月8日) [受講者数]7人
- ② こども点字教室 [実施回数]年1回(8月2日(8月9日荒天のため中止)) [受講者数]25人
- ③ 障がい者介助実技教室 [実施回数]年2回(1月17日、3月7日) [受講者数]計13人
- ④ 若年性認知症講演会 [実施回数]年1回(11月15日) [受講者数]42人

3 高齢者や障がい者等の社会参加の支援

(1) 「こうべ長寿祭」の開催等

長寿社会を明るく活力に満ちたものにするため、高齢者のスポーツと文化の振興を図り、高齢者の心身の健康の保持・増進に寄与するとともに、長寿社会における健康と福祉に関する市民の理解を深めることを目的に「こうべ長寿祭」を実施するとともに、神戸市代表選手団を「全国健康福祉祭とちぎ大会」へ派遣した。

- ① 第27回こうべ長寿祭
[開催期間]4月23日～10月26日 [参加者数]計3,542人、美術作品179点
- ② 第27回全国健康福祉祭とちぎ大会
[開催期間]10月4日～7日 [神戸市代表]計113人、美術作品12点

(2) こころのアート展

障がい者の芸術作品の魅力を広く市民に知っていただくとともに、活躍の場を拓くことを目的に、芸術活動に取り組む兵庫県内の障がい者を公募し、作品展及びその自由な表現を体感するワークショップを開催した。

26年度は展示期間を延長するとともに、巡回展を開催した。

- ① 作品展
[開催期間]10月23日～11月9日 [出展者数]11名(計131作品) [来場者数]計6,300人
- ② ワークショップ [開催日]11月3日 [参加者数]110人
- ③ 巡回展
 - ・あさご芸術の森美術館 [開催期間]5月24日～6月29日(25年度展示作品)
 - ・神戸ファッション美術館 [開催期間]1月17日～26日
 - ・神戸市役所市民ギャラリー [開催期間]2月3日～15日

(3) 発達の気になる子の体験ひろば

学校行事等への適応に対する不安を抱える発達の気になる児童に対し、事前に体験しておくことにより、その不安を解消する機会を提供するプログラムを実施した。

また、参加児童の保護者に対する支援を目的としたグループワークの開催のほか、26年度から新たに、受講を修了した家族向けの交流会を開催した。

- ① 体験ひろば(小学1年生クラス) [実施回数]全10回 [参加者数]15人
(小学2・3年生クラス) [実施回数]全10回 [参加者数]25人
- ② 保護者向け講座・交流会
[実施回数]年4回(9月14日、10月12日、11月19日、12月7日) [参加者数]計110人
- ③ 修了者交流会 [実施回数]年1回(3月1日) [参加者数]63人(児童29人、保護者34人)

(4) 児童養護施設退所児童向けSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)

児童養護施設の退所を控えた児童に対し、就職後に自立した生活が送れるよう、ビジネスマナーや消費生活、食生活管理といった社会・経済生活への順応に必要な知識を身につけるための講習会を開催した。

[実施回数]全5回 [受講者数]延42人

4 市民福祉事業の調査研究及び開発

福祉を取り巻く社会情勢の変化による新たに生じるニーズに対応しながら、市民福祉の向上のための事業の調査・研究開発に取り組んだ。

26年度は、25年度に引き続き、「しあわせの村における世代間交流のあり方」について、調査・研究活動を行い、最終報告をまとめた。

II 総合福祉ゾーン「しあわせの村」をはじめとする市民福祉施設の管理運営

[公2]

市民の心身の健康や福祉の増進を図るため建設された市民福祉施設における設立理念の実現を目指した管理運営を通して、市民福祉の向上を図る事業を実施した。

A 総合福祉ゾーン「しあわせの村」運営事業

「神戸市民の福祉をまもる条例」の基本理念である「自立と連帯」の実現をめざし、高齢者・障がい者をはじめとするすべての市民があたたかいふれあいの中で思いやりや助け合いの心を育み「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」場としての「しあわせの村」の総合的運営を行った。

運営にあたっては、専門的能力を有する事業者と共同事業体を構成し、「指定管理者」として新たな指定管理期間のスタートの年である26年度の運営を行った。

協会は、共同事業体代表法人として、運営全体の総合調整を行うとともに、利用者の安全・安心の確保や施設の維持管理を行ったほか、市民福祉の理念の実現のため、福祉的事業や市民交流事業の企画・実施等に取り組んだ。

また、各施設の管理運営については、共同事業体の各構成団体が専門的能力を発揮することにより、互いに連携をとりながら、全体としての利用者サービスの向上や効率的な運営に取り組み、開村25周年という節目を迎えた市民福祉の拠点施設である「しあわせの村」の事業運営の充実を図った。

26年度は、施設改修工事に伴う休業の影響もあり大幅に利用者数が減少した25年度に比べると入村者数は増加し、1,885千人となった。

【平成26年度しあわせの村利用状況】

	利用者数	対前年度比
入村者数	1,885,400人	102.1%
施設利用者数	1,093,359人	103.4%
宿泊施設	78,375人	101.2%
温泉	222,072人	99.8%
屋内運動施設	314,553人	111.6%
屋外運動施設	386,754人	103.2%
その他施設	91,605人	90.9%

1 障がい者の自立や社会参加を促進するための事業

(1) 障がい者就労カフェ

障がい者就労の場の拡充と来村者への福祉意識の啓発を目指し、本館・宿泊館1階において、障がい者と健常者がともに働く障がい者就労カフェの運営を行った。

[利用者数]60,657人

(2) はっぴねすコーナー

本館・宿泊館及び温泉健康センターにおいて、障がい者施設(8施設)の授産品やユニバーサルデザイン製品(8団体)の展示・販売や施設の活動を紹介するコーナーの運営を行った。

(3) ふれあいコンサート

音楽活動を通じた障がい者・高齢者の社会参加や市民とのふれあいの促進を目的に、家族や友人とともに音楽を楽しんでいる障がい者・高齢者のグループや音楽を通じたボランティア活動を行っているグループが出演するコンサートを行った。

[開催期間]4月19日～20日 [出演団体数]計46団体 [来場者数]計1,100人

(4) ファミリー日帰りキャンプ

身体・知的障がい児とその家族がキャンプやレクリエーション活動を通じて、参加者同士の交流を深め、リフレッシュできる場を提供した。

[実施回数]年1回(11月22日) [参加者数]25家族・91人

(5) 障がい者スポーツ教室

障がい者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的に各種スポーツ教室を行った。

[実施種目]水泳、卓球、運動あそび、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ

[受講者数]計752人

(6) 障がい者スポーツフェスタ

障がい者スポーツへの理解を深めることを目的に、障がい者と健常者がともに楽しむ卓球大会を開催した。(障がい者スポーツ体験会は荒天のため中止)

[実施回数]年1回(9月28日) [参加者数]117人

(7) ユニバーサル農園活動

ユニバーサル農園において、レクリエーションや機能回復等の一環として、村内の福祉施設利用者などに野菜の栽培や収穫等の農園活動の体験機会を提供した。

[参加団体数]6施設・計630人

2 高齢者の自立や社会参加を促進するための事業

(1) シルバーカレッジの運営

高齢者の豊かな経験を活かして自らの可能性を拓き、その成果を社会へ還元することを目指して、高齢者に学習及び実践活動の場を提供することを目的に、健康福祉、国際交流・協力、生活環境、総合芸術等のカリキュラムの他、地域でのボランティア活動も交えたカリキュラムを実施するとともに、学生ボランティアグループや卒業生が行う社会還元活動に対する支援・協力も行った。

[年度末在籍学生数]計1,055人

- ・健康福祉コース (195人)
- ・国際交流・協力コース (252人)
- ・生活環境コース (179人)
- ・総合芸術コース (429人)

(2) ひよどり短期スポーツ教室

身体機能の低下防止や生活習慣病予防、介護予防等のための健康づくりのきっかけを提供する教室を26年度から新たに実施した。

- ① 健康教室 [実施回数]全7回 [参加者数]7人
- ② ランニング教室 [実施回数]全4回 [参加者数]4人

(3) ひよどりいきいき教室

老化による心身機能の低下の防止と健康維持を目的に、軽運動やレクリエーション活動を行った。

[実施回数]年144回(毎週水、木、金) [参加者数]計1,789人

(4) 高齢者スポーツ教室

高齢者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的に各種スポーツ教室を行った。

[実施種目]水泳、卓球、バドミントン、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ
[定員]計1,620人

3 児童の健全な育成を図る事業

(1) 夏休み親子料理教室、アウトドアクッキング

子どもたちが食材に触れ、楽しみながら食に関心を持つとともに、料理を通じた親子のふれあいの場を提供した。

- ① 夏休み親子料理教室 [実施回数]年4回(8月2日・3日、各2回) [参加者数]計31家族・73人
- ② アウトドアクッキング [実施回数]年2回(11月23日・24日) [参加者数]計46家族・166人

(2) わいわいストリート

シルバーカレッジ卒業生等で構成するNPO法人「社会還元センターグループわ」による指導のもと、親子で楽しく遊べる昔あそびを行い、世代間の交流の場を提供した。

[実施回数]年1回(5月5日) [参加者数]350人

(3) おはなしの会

幼児が絵本や紙芝居に触れ、豊かな感性と創造性を育む機会を提供するとともに、ボランティアへの機会提供による担い手の育成を目的に、読み読みの会を開催した。

また、ボランティアグループが一堂に集まる「おはなしカーニバル」を開催した。

- ① おはなしの会 [実施回数]年99回 [来場者数]計2,924人
- ② おはなしカーニバル [実施回数]年1回(12月14日) [来場者数]150人

(4) ちびっ子写生会

写生会を通して、子どもたちに村の豊かな自然環境を体感する機会を提供した。

また、作品については村内施設に掲示するとともに、優秀な作品に対しては表彰を行った。
[実施回数]年1回(5月3日) [参加者数]457人

(5) 昆虫採集と標本作り教室

昆虫採集や標本作成を通じ、親子の絆を深めるとともに、子どもたちが生物を観察し、関心を高め、身近な自然の多様性を学ぶ機会を提供した。

[実施回数]年4回(8月2日・3日、各2回) [参加者数]計54家族・82人

(6) たこづくり・たこあげ大会

たこづくりや村の広大な広場でのたこあげを通して親子のコミュニケーションを育む機会を提供した。

[実施回数]年1回(1月10日) [参加者数]510人

(7) ボランティアリーダーとの自然体験プログラム

児童が大学生ボランティアとともに自然とふれあいながら体験するキャンプやグループワークを通して自ら考える力や豊かな感受性を養う機会を提供した。

① ボランティアリーダーと体験するサマーキャンプ

[実施回数]年1回(7月30日～8月1日) [参加者数]37人

② ボランティアリーダーと体験するアウトドア

[実施回数]全3回(3月8日・15日・28日～29日) [参加者数]42人

(8) 夏休み工作塾 ※警報発令のため中止(8月10日)

4 市民福祉の拠点施設としての施設を維持するとともに活性化を図る事業

(1) 総合的な施設の管理運営

- ① 誰もが安全・安心・快適に利用できるよう、施設の保守・修繕や警備等の村内施設の総合的な維持管理を行った。
- ② 高齢者や障がい者の利用割合が高い施設の特性を考慮しながら、協会において策定した「しあわせの村ユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、当事者の意見を活かしながら検証し、誰にでもやさしい「村」づくりを進めた。
- ③ 開村25周年を記念した新たな名所として「しあわせの花日時計」の整備を進めたほか、一年中花がみられ、市民の憩いとリフレッシュの場として人気が高い緑地について、快適な空間として良好に維持管理するとともに、来村者が緑の中で五感の刺激を受け、心身の癒しを感じながら散策を楽しむことのできる「いやしの小径」を整備した。
- ④ 市民の理解をより一層深めていただくための情報発信や運営改善のためのアンケート調査を行った。

また、新たに27年度から実施するモニター制度を活用した詳細なニーズ調査に向けて、「村っこモニター隊」の募集・登録を行った。

- ・入村者アンケート調査 [実施回数]年1回(10月15日・18日) [有効回答数]1,280人
- ・ホームページやメールマガジン、フェイスブック等の様々な広報手段の活用による情報発信
- ・村っこモニター隊 [年度末登録人数]61人

⑤ 障がい者団体への村内管理業務等の委託や協働による商品開発を通して、障がい者の就労の場の確保を図るとともに、自立や社会参加の支援を行った。

- ・空き缶回収・ゴミの分別回収業務
- ・温泉健康センター販売コーナーの清掃業務
- ・保養センターひよどり周辺の園地管理
- ・自動販売機の管理
- ・しいたけ・ブルーベリーの栽培、養蜂事業
- ・村内福祉施設による缶バッジ・マグネットの製作・販売

(2) 多くの市民が集い、楽しみ、憩い、交流を深めるための事業

① こうべ福祉・健康フェア

市民の福祉意識を啓発し、ボランティア活動の情報提供や健康に関する正しい知識の普及・啓発を図ること目的に、福祉施設・障がい者団体によるバザーや模擬店の他、福祉用具展、各種検診等を行った。

[実施回数]年1回(10月5日) [来場者数]13,000人

② しあわせの村まつり

村内施設や関係団体、近隣地域の参加・協力により、広く市民が交流する地域の夏祭りとして、模擬店、ステージイベント等を行った。

[実施回数]年1回(7月26日) [来場者数]27,000人

③ リサイクルバザー

資源の有効活用を通じた市民相互の支え合いと環境意識の啓発を目的に、市民出店者による不用品等のリサイクルバザーを開催した。

[実施回数]年5回(5月31日・6月1日、11月8日・9日(雨天中止)、3月21日・22日) [来場者数]計61,000人

④ マンスリーミニコンサート

しあわせの村を訪れる幅広い世代の方々に季節を感じ癒しのひと時を過ごしていただくことを目的に、神戸市混声合唱団によるロビーコンサートを開催した。

1月には、阪神淡路大震災を機に始まった同コンサートの20年の節目として「震災20年メモリアルコンサート」を開催した。

[実施回数]年12回(毎月1回) [来場者数]計3,510人

⑤ 村の魅力ある自然環境を楽しむ催しの開催

▶ 夜桜ライトアップ

日本庭園を夜間開放し、シダレザクラ等のライトアップを実施した。

[開催期間]4月11日～13日 [入園者数]計1,523人

▶ 月見の夕べ

中秋の名月にあわせて神戸市混声合唱団によるコンサートを開催した。

[実施回数]年1回(9月6日) [来場者数]150人 ※雨天のため、会場を館内に変更し、観望会を中止。

▶ 緑のオリエンテーリング

村の豊かな自然環境を体感しながら、クイズラリーなどを楽しむオリエンテーリングを実施した。

[実施回数]年2回(7月5日、11月1日) [参加者数]計270人

▶ 幽かな蛍の夕べ

日本庭園に自生するヘイケボタルの光を楽しむ鑑賞会を開催した。

[実施期間]6月6日～8日 [参加者数]計1,533人

▶ 化石探検隊

全国的にも有名な“白川の化石”の発掘模擬体験を行った。

[実施回数]年1回(11月16日) [参加者数]26人

▶ 植物散策会

日本庭園や鎮守の森等に生息する植物を観察しながら散策を行った。

[実施回数]年2回(5月18日、10月8日) [参加者数]計52人

⑥ しあわせの村ボランティア

しあわせの村での事業に大学生から高齢者までボランティアの参画を広く求め、活動の場の提供と支援を行った。

[活動内容]

ア. 各種イベントの運営補助

イ. 障がい児、障がい者向けスポーツ教室の補助

ウ. 花壇のデザインや植え付け、手入れ等

エ. イベントの企画・運営

▶ 読み聞かせ [実施回数]年6回 [参加者数]計136人

▶ 運動あそび [実施回数]年5回 [参加者数]計72人

▶ 自主企画 [実施回数]年6回 [参加者数]計1,398人

[登録者数/活動人数]

ア. 障がい児・障がい者向けスポーツ教室の指導補助ボランティア (55人/延1,852人)

イ. 社会人ボランティア (153人/延1,098人)

ウ. ユース(大学生)ボランティア (87人/延1,404人)

エ. 花緑ボランティア (27人/延612人)

B 平磯児童館の運営

児童に健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、または情操を豊かにする活動を通じて地域における市民福祉の向上に寄与することを目的に、指定管理者として運営を行った。

① 児童健全育成事業

自由来館児童への遊びの提供・指導、季節行事、在宅福祉センターや地域福祉センターの高齢者との交流会等を実施した。

② 子育て支援事業

・「幼児の会」(毎週1回)

3・4・5歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラムを実施した。

・「ミニ幼児の会」(毎週1回)

2歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラムを実施した。

- ・「すくすく広場」（毎月1回）

0～5歳児の親子同士の交流を図るための季節行事等のプログラムを実施した。

[利用者数]延8,721人

Ⅲ 介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業[公3]

当協会の中立性と専門的資格を有する人材を活用し、介護保険制度の公正・公平な運営の確保に寄与するための事業を市からの受託により実施した。

1 要介護認定調査業務

指定市町村事務受託法人として、市内全域における介護保険サービスの受給を新たに申請する市民及び要介護度の変更を申請する市民に対して訪問・調査を行った。

[調査件数]30,029件

2 地域包括支援センター巡回調査業務

地域包括支援センター(30センター)を定期的に訪問し、介護予防ケアマネジメント業務に対する調査や助言等を行った。

【収益事業等】

指定管理施設に付帯する便益施設及び市民福祉施設等の運営

1 しあわせの村

(1) 便益施設等の運営

- ① 有料駐車場の管理運営 [(有料)利用台数]323,258台
- ② 飲料等自動販売機及び公衆電話の設置運営
- ③ 野菜・鮮魚等直売所(しあわせマルシェ)の運営 [利用者数]221,948人
- ④ 貸館(シルバーカレッジ内ホール等、日本庭園内茶室)
[利用人数]カレッジ内ホール等4,264人、茶室513人

(2) 東日本大震災被災地支援活動の実施

震災直後に実施した募金活動や救援物資の送付以降、毎年行っている支援活動を引き続き行った。

- ① しあわせの村関連団体との協力による被災地の訪問及び昔あそびやコンサート等の交流事業を行った。[訪問期間]7月1日～4日
- ② 被災地児童等の神戸への招待事業における村内利用に対する協力
- ③ 被災地の障がい者施設の授産品の販売

2 垂水年金会館

市民の教養文化の向上と福祉の増進を図るため建設した同施設の管理運営業務を行った。

- ① 施設の貸与
児童館、地域福祉センター、ボランティアルーム
- ② 貸館(会議室4室、ホール1室) [利用者数]58,310人

- ③ 施設の維持管理
保安全管理、清掃、植栽管理、設備維持管理
- ④ 有料駐車場の管理運営 [利用台数]19,685台
- ⑤ 自動販売機の設置運営

3 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺

市民の健康の保持・増進を図るために建設した同施設について、公募により選定した民間事業者により運営を行った。

[利用者数] (宿泊) 9,042人 ※5月23日から6月18日までの間、改修工事のため休業 (温泉) 263,253人

4 福祉機器展示コーナー

身体障がい者や高齢者の快適な生活を支援するため、民間専門事業者への委託により、福祉用具・介護用品の展示・販売や相談を行うとともに、福祉用具リサイクル事業として、提供希望者と譲受希望者のコーディネート及び運搬・修理を行った。

[来場者数]3,290人 [リサイクル成立件数]13件

5 サン舞子マンション

平成23年度に社会福祉法人へ事業を承継したが、引き継いだ入居者に対する相談対応や入居預り金の管理を引き続き行った。[年度末入居者数]12戸・14人